



学校法人 才教学園 才教学園小学校・中学校 (松本市)

私たちの学校では、
こんな活動をしています。



長野市立 長沼小学校

心に刻んだ防災の大切さ

被災地訪問と避難所作りの体験を通して

松本市

安心して暮らせる長沼に

地域の方といっしょに学ぼう！ 考えよう！ 行動しよう！



私たちと同じ
小学生が被害に
あったんだなあ…。

石巻ボランティア協会の方の案内で旧大川小学校(石巻市)を訪ね

ここには
16mの津波が
来たんだって…。

震災記念公園(石巻市)

防災対策庁舎(南三陸町)



避難所には
楽しい場所も
ほしいよね。

段ボールベッドは
簡単に作ることが
できるんだね。

大学生ボランティアの
みなさんと避難所作り

各校のボランティア・地域活動の紹介

才教学園の6年生は、1年間をかけて防災について学んでいます。6月には2泊3日の研修旅行で、東日本大震災の被災地、宮城県石巻市を訪れました。

バスで市内各所を見学したときには、自ら被災しながらも避難所などの運営に力を尽くされた「石巻ボランティア協会」の方に案内していただきました。

震災記念公園や市街地を見学した最後に、旧大川小学校を訪れました。ここでは、地震の直後、校庭にいた78名のうち70名が津波に巻き込まれて亡くなってしまったそうです。私たちは、海から5キロも離れている場所まで川をさかのぼって津波がきたという話を聞いて、「こんな

遠い所まで津波がきたなんて信じられない」「避難訓練は本当に大事なんだ」と感じました。

12月には、全国の大学生によるボランティア団体「IVUSA(国際ボランティア学生協会)」のみなさんに来校いただきました。グループに分かれ学校の体育館に、校内にあるモノを使って避難所を作る」という活動をいっしょに行いました。ふだんから防災を学んでいる大学生のアドバイスはとてもわかりやすく、その教えてくれる姿を見て「よかった」「私もIVUSAに入りたい」と思いました。

私たちは、この2つのボランティア団体との交流を通じて、防災の大切さを心に刻むことができました。



長沼には
みんなで助け合い、
がんばってきた
歴史があるんだね。

長沼防災の日
地域の方に
向けた発表

減災・防災について
よく調べましたね。

地域の方の感想発表



低学年に学びを発表

避難したとき、
必要なものって
なんだろう？

携帯トイレは、
災害の時に
必要だね。



1742年8月2日
(寛保2年 江戸時代)
3m38cm

私たちが知っている
台風19号の時
(令和元年10月13日)
2m50cm

戊子の満水の時は、
もっと水が
たくさんきたんだね。

かるたの洪水水位は
千曲川大洪水水位標
のことなんだね。

長沼小学校では、災害に負けない未来をつくっていくために、減災・防災学習に取り組んでいます。毎年10月13日は、長沼防災の日です。昨年は地域の方といっしょに減災・防災に役立つ知識を体験しながら学びました。今年は各学年で学習したことを地域の方々に発表しました。

私たち6年生は「減災・防災の知識と現状」と「減災のための治水対策」を発表しました。長沼は災害が多い地域だから洪水の原因は何かを知り、しっかり対策して二度と災害で大きな被害が出ないようにしなければいけないと思いました。

低学年は「長沼かるた」に詠まれている「歴代より寺に記され 妙笑寺」の洪水水位について発表しました。かつて私たちがこのお寺で学んだことを思い出しました。

4年生は、備えについての大切さを発表していました。いろいろな防災グッズがあることを知ってびっくりしました。避難するとき何が必要か、みんなで協力して準備していくことや、自分で考えて行動することが大切だとわかりました。

安心して暮らせる長沼にするために、減災・防災学習をしっかりとやり、私たちより小さな人や災害を知らない人たちに伝えていきたいです。

才教学園
小学校
の紹介

松本市の村井地区にある私立の小・中一貫校で、小学校1年生から中学3年生にあたる9年生までの約360名が同じ校舎で学んでいます。全校を赤白に分けて勝負にこだわる5月の体育祭は大迫力です。

ここに注目！
取り組みの
ポイント

石巻市への訪問は、コロナなどで中断もありましたが、震災の3年後にあたる2014年度から続いています。最初のころは、街のいたるところに震災の爪痕が残っていました。今は石巻の復興の様子を見る旅にもなっています。

長沼小学校
の紹介

水田やりんご畑が広がる長野市の東北部にあり、全校児童77人の学校です。2024年度に創立150周年を迎えました。伝統行事のやきいもマラソン大会、しっぽり大会などを児童会で企画し、縦割り班で仲良く活動しています。

ここに注目！
取り組みの
ポイント

自分たちの住んでいるまちの歴史を知することは、昔からの大切なメッセージを受け取ることになります。みんなが安心して暮らせるような工夫や協力しあう方法など、これからも地域の方といっしょに学んで、伝えていきましょう。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」
チャイルドライン
フリーダイヤル 0120-99-7777
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。



★ちょっといいにくいけども、
名前は言わなくていいので
安心して話してください。

★どんなことでも、
いっしょに考えます。

チャイルドラインはみなさんの
赤い羽根共同募金が役立てられています。



発行/
お問い合わせ



社会福祉法人
長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター
〒380-0936 長野市大字中御所字岡田98番地1 長野保健福祉事務所庁舎内
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137
Eメール vcen@nsyakyō.or.jp ホームページ <http://www.nsyakyo.or.jp>



公益社団法人
信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098
TEL.026-232-6994
ホームページ <https://www.shinkyō.or.jp/>

どこにあるか
わからないひとは
長野県協まで！

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音源データとしてダウンロードできます。
<http://www.nsyakyo.or.jp>



この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が役立てられています。